



■ 佐賀県出身 看護医療学部 1年

疾病を抱える中での
ベストな生活を支援できる
老年看護の専門看護師になりたい。

Q 維持会奨学生として思うことは？

維持会奨学生として、また慶應義塾の塾生として何事にも人一倍真摯に取り組んでいかなければならないと思っています。中でも、やはり一番は勉学です。学費に充てるためにいただいた奨学金なので、良い成績をとるために毎日の授業と復習に励みます。そして、将来の夢と慶應義塾に貢献することに繋がっていきたいです。

Q 一番興味のある授業は？

「今日の看護医療」という授業です。ゲストスピーカーのお話から、現在の看護の状況を学びます。ゲストスピーカーには、起業した方や発展途上国で活躍している方など、幅広く活躍している方がいらっしゃるの看護職の幅の広さを実感できます。毎回、事前課題に対して自分の考えを述べますが、講義を受けると自分の考え方は良くなかったことに気付きます。授業の度に、これまでの自分の看護に対する考え方が変わったり、看護には何が大切なのかを学ぶことが出来たりして、新しい発見があるのが非常に面白いです。また、授業の後半にはグループディスカッションがありますが、自分とは違う視点の意見を聞くことで更に学びを深めることが出来るので、一番楽しい授業です。

Q 今後、学生生活でチャレンジしたいことは？

私は大学生のうちにチャレンジしたいことが二つあります。一つ目は、訪問看護の体験をすることです。看護は現場に行き、その場の雰囲気を感じたり患者さんと関わったりする中で学び、技術を磨いていけると考えています。ですから、授業で得た知識や実習で身につけた技術を多くの臨床現場で実践することで、看護の基礎を固めたいです。

二つ目は、海外の看護に触れることです。中でも、発展途上国で看護を実践することに興味があります。十分な医療機器が備わっていないために、看護をするにしても日本と同じようにはいかないの、その国の生活や環境に合わせて工夫した看護を提供したいです。高度な治療は施せなくても、看護の力で出来ることを増やして、癒してあげたいと思います。

◎ 卒業後の進路、将来の夢は？

老年看護の専門看護師になることです。私は、幼い頃から祖父母のことが大好きで、また、知り合いない高齢者の方でも自分の祖母や祖父のように感じられて、常に何か自分に出来ることはないかと考えていました。それから、高齢者に関わる仕事がしたいと考え、看護という職の中に老年看護の分野があることを知り、プロフェッショナルを目指したいと考えたので、老年看護の専門看護師になろうと思いました。私は将来、高齢の方が様々な疾病を抱える中で、その方にとってベストな生活を送れるような支援が出来る看護師になりたいです。そのために授業や実習に励んで基礎を固め、大学院でより専門性を磨いていこうと考えています。